

<福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ>
(8月9日 午後3時現在)

平成23年8月9日
東京電力株式会社
福島第一原子力発電所

福島第一原子力発電所は全号機（1～6号機）停止しています。

1号機（停止中）

- ・ 3月12日午後3時36分頃、直下型の大きな揺れが発生し、1号機付近で大きな音があり白煙が発生しました。水素爆発を起こした可能性が考えられます。
- ・ 3月23日午前2時30分頃、給水系から原子炉への海水注入を開始しました。
- ・ 3月25日午後3時37分より原子炉への淡水の注入を開始し、現在は外部電源から受電した電動ポンプで淡水の注入を行っています。
現在の注水量は、給水系配管から約 3.6m^3 /時です。
- ・ 4月7日午前1時31分、原子炉格納容器内へ窒素ガスの注入を開始しました。

2号機（停止中）

- ・ 3月15日午前6時頃に圧力抑制室付近で異音が発生、同室の圧力が低下しました。
- ・ 3月26日午前10時10分より原子炉への淡水の注入を開始し、現在は外部電源から受電した電動ポンプで淡水の注入を行っています。
現在の注水量は、給水系配管から約 3.5m^3 /時です。
- ・ 6月28日午後8時6分、原子炉格納容器内へ窒素ガスの注入を開始しました。

3号機（停止中）

- ・ 3月14日午前11時1分頃、1号機同様大きな音とともに白煙が発生したことから、水素爆発を起こした可能性が考えられます。
- ・ 3月25日午後6時2分より原子炉への淡水の注入を開始し、現在は外部電源から受電した電動ポンプで淡水の注入を行っています。
現在の注水量は、給水系配管から約 8.9m^3 /時です。
- ・ 7月14日午後8時1分、原子炉格納容器内へ窒素ガスの注入を開始しました。

4号機（定期検査で停止中）

- ・ 3月15日午前6時頃、大きな音が発生し、原子炉建屋5階屋根付近に損傷を確認しました。
- ・ 現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏えいはないものと考えています。

5号機（定期検査で停止中）

- ・ 安全上の問題がない原子炉水位を確保しております。
- ・ 3月19日午前5時、残留熱除去系ポンプを起動し、使用済燃料プールの冷却を開始しました。
- ・ 3月20日午後2時30分、原子炉は冷温停止状態となりました。
- ・ 7月15日午後2時45分、本設の残留熱除去海水系(B系)ポンプによる残留熱除去系(B系)の運転を開始しました。
- ・ 現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏えいはないものと考えています。

6号機（定期検査で停止中）

- ・ 安全上の問題がない原子炉水位を確保しています。
- ・ 3月19日午後10時14分、残留熱除去系ポンプを起動し、使用済燃料プールの冷却を開始しました。
- ・ 3月20日午後7時27分、原子炉は冷温停止状態となりました。
- ・ 現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏えいはないものと考えています。
- ・ 8月9日午前9時30分頃から午後1時40分頃まで、残留熱除去海水系代替冷却仮設ポンプの接続方法を強化するため、当該仮設ポンプから残留熱除去海水系（A系）への配管接続作業を行いました。なお、この作業に伴い運転していた残留熱除去海水系（B系）を停止し、原子炉および使用済燃料プールの冷却を一時的に停止しましたが、安全上の問題はありません。

使用済燃料プールの冷却作業

- ・ 5月31日午後5時21分、2号機の使用済燃料プール冷却浄化系の代替冷却装置によるプール水の循環冷却を開始しました。
- ・ 6月30日午後7時47分、3号機の使用済燃料プール冷却浄化系の代替冷却装置によるプール水の循環冷却を開始しました。
- ・ 7月31日午後0時44分、4号機の使用済燃料プール冷却浄化系の代替冷却装置によるプール水の循環冷却を開始しました。

負傷者等

- ・ 8月7日午前9時30分頃、構内にある協力企業休憩所内において、出入り管理作業を行っていた協力企業作業員1名が右膝の違和感を訴えたため、午後0時5分にいわき市立総合磐城共立病院へ救急車で搬送しましたが、原因は不明とされました。その後、8月8日、千葉社会保険病院にて再度診察を受けた結果、外傷性右膝滑膜性血腫と診断されました。

その他

- ・ 5月10日午前11時、6号機原子炉建屋地下から同号機廃棄物処理建屋へ溜まり水の移送を開始しました。
 - ・ 6月13日午前10時頃、2、3号機スクリーンエリアに設置した循環型海水浄化装置の運転を開始しました。
 - ・ 6月17日午後8時より水処理設備において滞留水の処理を開始しました。
 - ・ 7月2日午後6時、水処理設備による処理水を、バッファタンクを経由し、原子炉へ注水する循環注水冷却を開始しました。
 - ・ 8月4日午前7時9分、2号機タービン建屋から集中廃棄物処理施設プロセス建屋への溜まり水の移送を開始しました。
 - ・ 8月5日午前8時42分、3号機タービン建屋から集中廃棄物処理施設プロセス建屋への溜まり水の移送を開始しました。
 - ・ 8月7日午後4時11分、淡水化装置にて発生する濃縮された海水から淡水を作るため、水処理設備に追加設置していた蒸発濃縮装置2台の試運転が終了し、本格運用に移行しました。
 - ・ 8月8日午前10時から午後5時まで、屋外仮設タンクからメガフロートへ低レベル滞留水の移送を行いました。
 - ・ 8月8日午前11時から午後4時まで、6号機タービン建屋内から仮設タンクへ溜まり水の移送を行いました。
 - ・ 8月8日午後8時20分、SPTタンクの水位計の誤警報により水処理設備が停止しましたが、設備に問題がないことを確認し、午後10時22分、水処理設備を起動し、午後10時45分、滞留水の処理を再開しました。
- また、8月9日午前1時50分、淡水化装置に処理水を供給する廃液供給タンクの警報が発生し、

淡水化装置が自動停止しましたが、SPT受入タンクの水位計の修復を行った後、設備に問題がないことを確認し、午前9時35分、淡水化装置を起動しました。なお、1～3号機の原子炉への注水は継続しています。

- 8月9日午前10時、屋外仮設タンクからメガフロートへ低レベル滞留水の移送を開始しましたが、午前10時12分、屋外に敷設されている移送配管より漏えいが確認されたため、移送を停止しました。その後、当該配管を交換し、午後1時35分に移送を再開しました。
- 8月9日午前11時、6号機タービン建屋内から仮設タンクへ溜まり水の移送を開始しました。

以 上